

碧南市ほっとプラン

第8期高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画 素案

(基本理念と目標について)

令和2年8月

碧 南 市

■第1章 計画策定にあたって■

1 計画策定の背景と趣旨

わが国では高齢化、人口減少が進んでおり、2018年10月1日現在、65歳以上の総人口に占める割合である高齢化率は28.1%となっています。将来の人口推計では、2029年に人口1億2,000万人を下回った後も減少を続け、2053年には1億人を割って9,924万人になると予測されています。

本市においては、2019年10月1日時点での住民基本台帳人口は73,184人となっており2015年10月1日時点の71,666人と比べて約1,500人増加しています。高齢率は23.4%と約4人に1人が65歳以上の高齢者となっています。

このような状況の中、本市では第7期碧南市高齢者ほっとプラン（以下、「第7期計画」）では、「健康と生きがいづくり」「支え合う地域づくり」「安心して暮らせる環境づくり」を基本理念と定め、「高齢者の元気と在宅生活をみんなで支えるまちづくり」を目標に、医療・介護・生活支援・介護予防・住まいなどのサービスを一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の深化・推進に取り組んできました。

本計画は、第7期計画が令和2年度で終了することを受け、第7期計画の内容やその課題を検討した上で、今後3年間の高齢者福祉施策及び介護保険事業について取り組むべき事項を定めるものです。

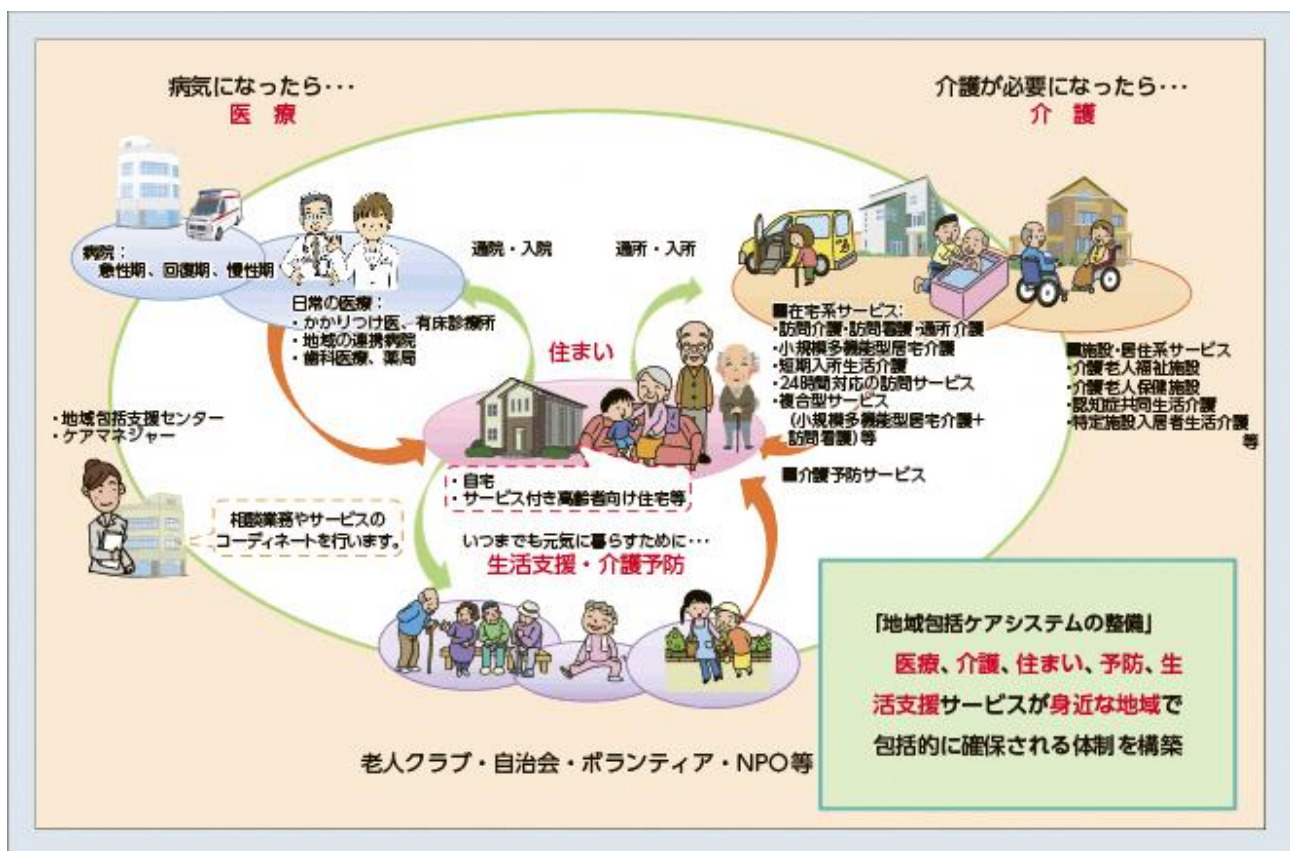
本計画では、団塊の世代が75歳以上となる2025年及び団塊ジュニア世代が65歳以上となり現役世代が急減する2040年を見据えて、中長期的な視点で、地域包括ケアシステムのさらなる深化・推進に努めていきます。また、第7期計画から引き継ぐ大きな方針として、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域とともに作っていく社会である“地域共生社会”の実現を目指していきます。

■地域包括ケアシステムとは

団塊の世代が 75 歳以上となる 2025（令和 7）年を目途に、高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できるようにするため、医療、介護、生活支援・介護予防、住まいが一体的かつ包括的に提供される社会的な仕組みのことを指します。

この地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていく必要があります。

図表 1-1 地域包括ケアシステムの姿



2 計画の期間

第8期計画は、2021年度（令和3年度）から2023年度（令和5年度）までの3か年を計画期間とします。また、本計画は、団塊の世代がすべて75歳以上の後期高齢者となる2025年及び2040年を見据えた中長期的な視点を持ち、地域包括ケアシステムを推進していくものです。

図表 1-2 計画期間

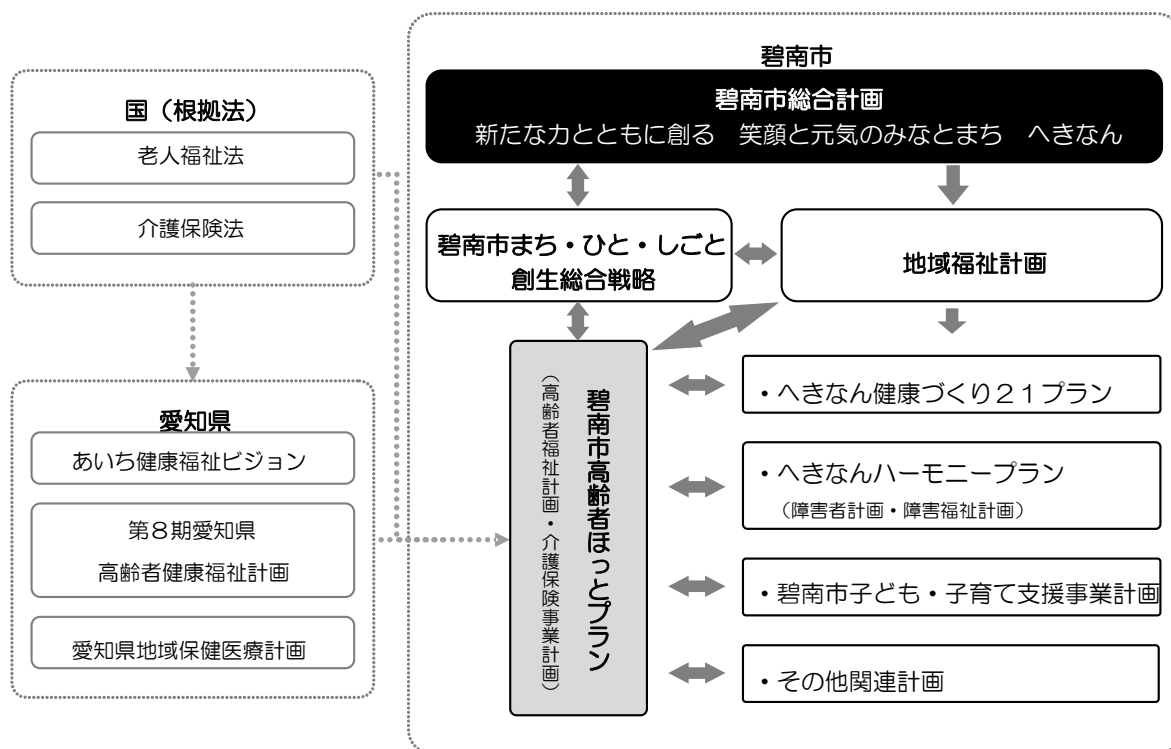


3 法令等の根拠と計画の位置づけ

本計画は、老人福祉法（第 20 条の 8）に基づき、高齢者の福祉の増進を図るために定める「市町村老人福祉計画」（高齢者福祉計画）と、介護保険法（第 117 条）に基づき、介護保険事業の円滑な実施を図るために定める「市町村介護保険事業計画」を一体的に策定したものです。

本計画は「第 6 次碧南市総合計画」を上位計画として位置づけるとともに、地域福祉計画やへきなん健康づくり 21 プラン、へきなんハーモニープラン等の関連計画との整合性を図り策定したものです。

図表 1-3 計画の位置づけ



4 計画の策定体制

アンケート調査の実施

高齢者の現状や要望、サービス利用の状況などを把握するとともに、介護・福祉サービス事業者のサービス提供に関する課題と今後の意向などを把握するため、「健康とくらしの調査（日常生活圏域ニーズ調査）」及び「介護保険・福祉に関するアンケート調査」を実施し、計画策定の基礎資料としました。

【健康とくらしの調査（日常生活圏域ニーズ調査）】

- ・ 調査地域 : 碧南市全域
- ・ 調査対象者 : 要介護認定を受けていない 65 歳以上の高齢者（要支援認定者含む）
- ・ 抽出方法 : 単純無作為抽出
- ・ 調査時期 : 令和元年 11 月～12 月
- ・ 調査方法 : 郵送配布、郵送回収

対象者	配布数	回収数	回収率
65 歳以上の高齢者	7,500 件	5,543 件	73.9%

【介護保険・福祉に関するアンケート調査】

- ・ 調査地域 : 碧南市全域
- ・ 調査対象者 : 要介護認定者（施設入所者を除く）、サービス提供事業所、ケアマネジャー
- ・ 抽出方法 : 要介護認定者 . . . 無作為抽出
サービス提供事業所 . . . 全事業所
ケアマネジャー . . . 全事業所
- ・ 調査時期 : 令和 2 年 2 月
- ・ 調査方法 : 郵送配布、郵送回収

対象者	配布数	回収数	回収率
要介護認定者	1,000 件	510 件	51.0%
サービス提供事業所	79 件	74 件	93.7%
ケアマネジャー	64 件	56 件	87.5%

介護保険運営協議会の開催

本計画の策定にあたっては、様々な視点から検討を行うために、学識経験者、高齢者福祉・介護保険に関係する団体・機関の代表者、介護保険被保険者の代表者などで構成する「碧南市介護保険運営協議会」においてご検討いただき、その検討結果を踏まえて策定しました。

5 第8期計画のポイント

(次回以降に作成)

■第2章 高齢者の現状■

(次回以降に作成)

■第3章 計画の基本的な考え方と重点分野■

1 計画の基本理念と目標

1 基本理念

高齢者が安心して暮らせる あたたかい共生のまちづくり（仮）

第7期の碧南市高齢者ほっとプランにおいては「高齢者の元気と在宅生活をみんなで支えるまちづくり」とし、これを達成すべく各施策を推進し、「医療・看護」、「介護・リハビリテーション」、「保健・福祉」、「介護予防・生活支援」、「住まい」を切れ目なく提供する「地域包括ケアシステム」の深化・推進に取り組んできました。

今後の展開として「高齢者が安心して暮らせるあたたかい共生のまちづくり（仮）」を目標に掲げ、さらなる地域包括ケアシステムの充実により、高齢者が“ほっと”できる「安心」と“ホット”な支え合いの「あたたかさ」を感じられるような、共生のまちづくりを目指していきます。



2 目標

目標については、第7期の考え方を継承し、地域の実情に応じた施策・事業の充実を図っていきます。

1 健康と生きがいづくり

いつまでも元気でいられるように、健康寿命の延伸と、生きがいの創出を目指します。

2 支え合う地域づくり

ひとのわでお互いを支え合う、あたたかく住みよい地域づくりを目指します。

3 安心して暮らせる環境づくり

住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らすことができる環境づくりを目指します。